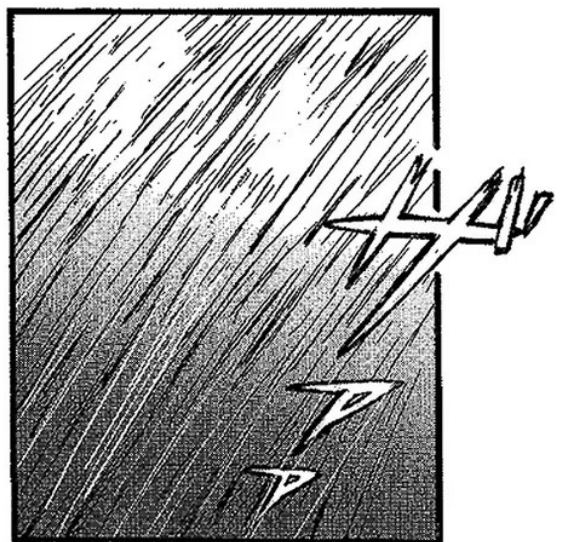
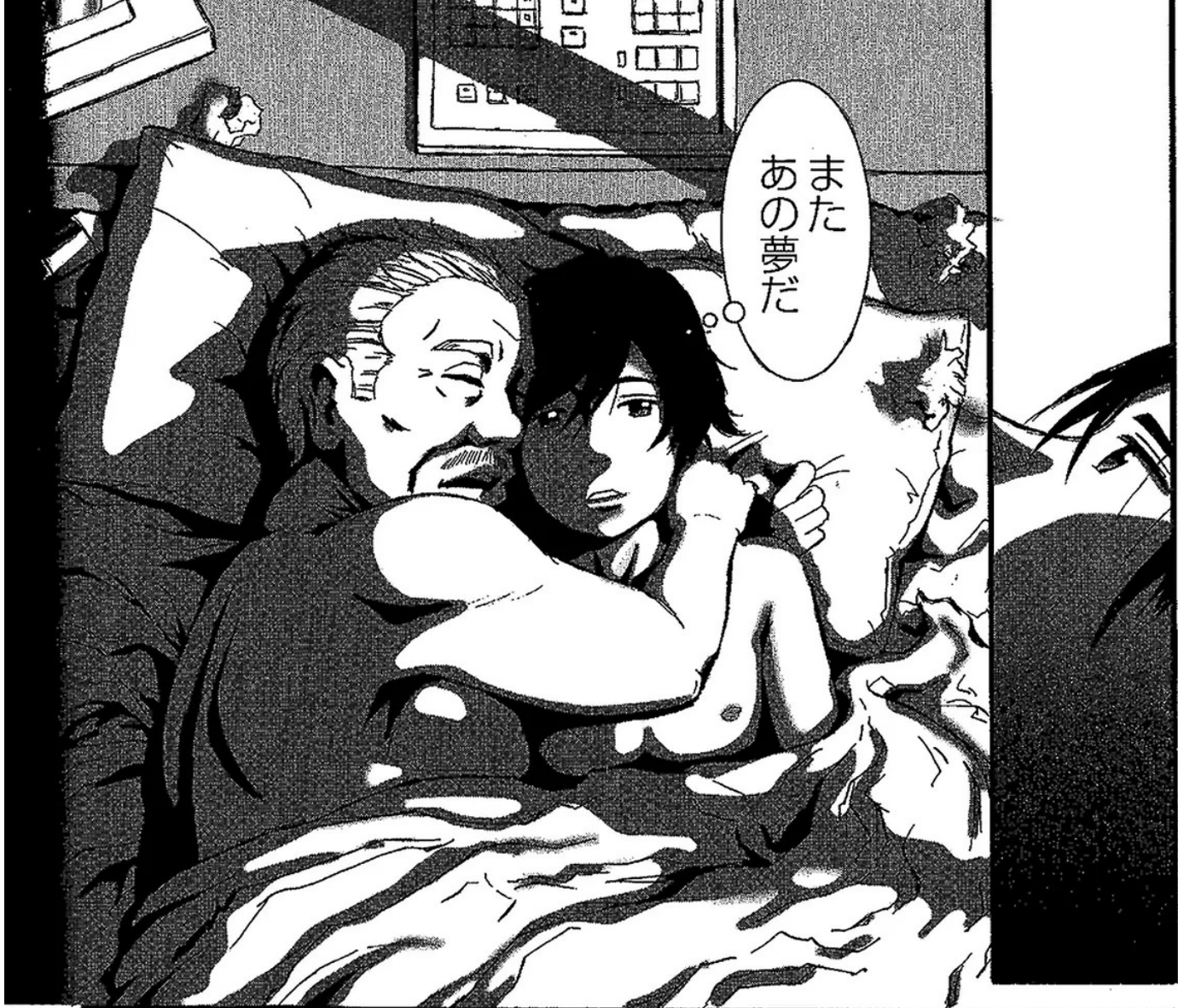


Part.1

翼をください！

新鋭デビュー
山野内海

小さい頃は何にでも手が届くと思っていた――





今日は
どうするんだい？

適当に時間潰^{つぶ}して
また誰かに泊めて
もらいます

まだ若いのに
学校にも行かず
毎日、ブラブラしてるのは
どうかと思うが



まあせっかくの
若盛りなんだ

よく勉強して
よく遊んで



あんたが言うな



昨晩は良かったよ
今夜もまた会わない？



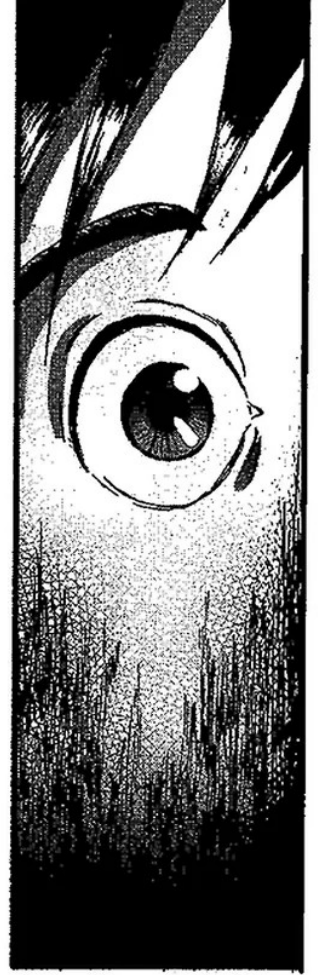
よくセックスしないとね







こ、こんな所で
何やってるんだ…



!?
梶原…
お前…



わ、私はこれで
すた



!?
体育の
稲村先生…

なんだ？
あんたは？



待つんだ！

どこへ行く？



おい！ 待て！



何で！

何で！



ケイ！！



稲村先生に！

よりよって

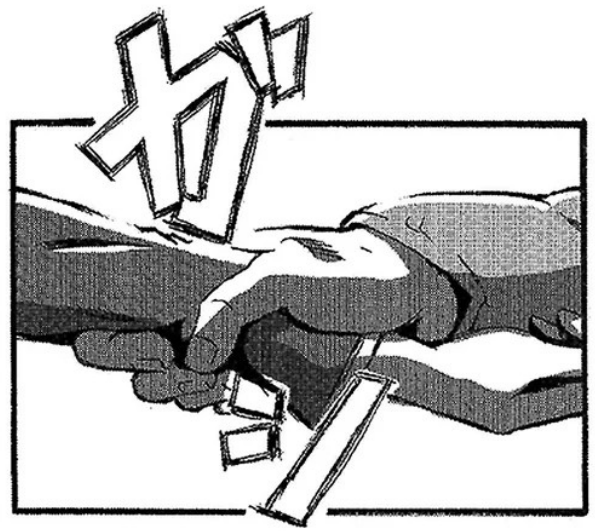
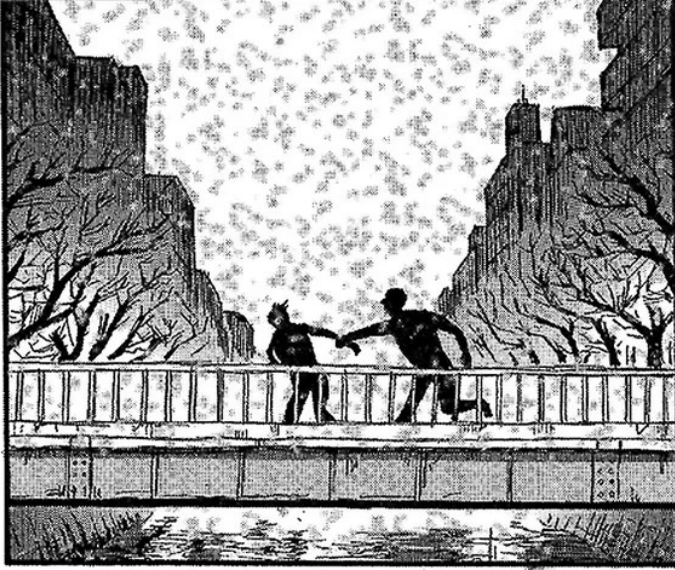


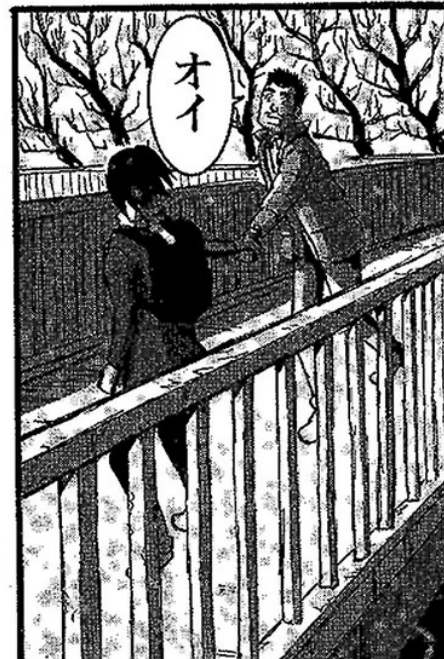
っ



おい！！
逃げないでくれ

頼むから！！







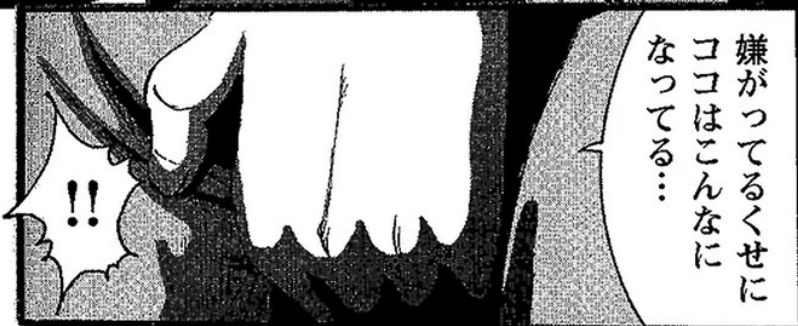


ケイ
何やってるんだ

あこが
僕、ずっと憧れて
いたんです



おい



嫌がつてるくせに
ココはこんな
なってる…

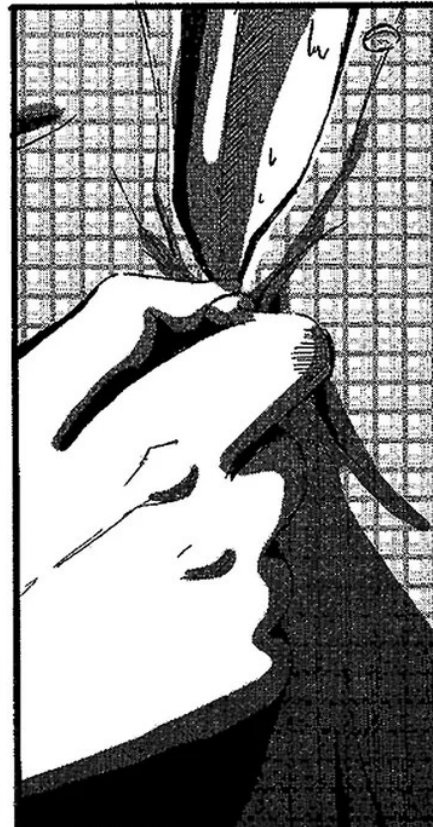
!!



僕の事
好きにしてもいいんですよ



や、やめろ





先生、僕の事
学校でよく
見てたでしょ

ねえ…



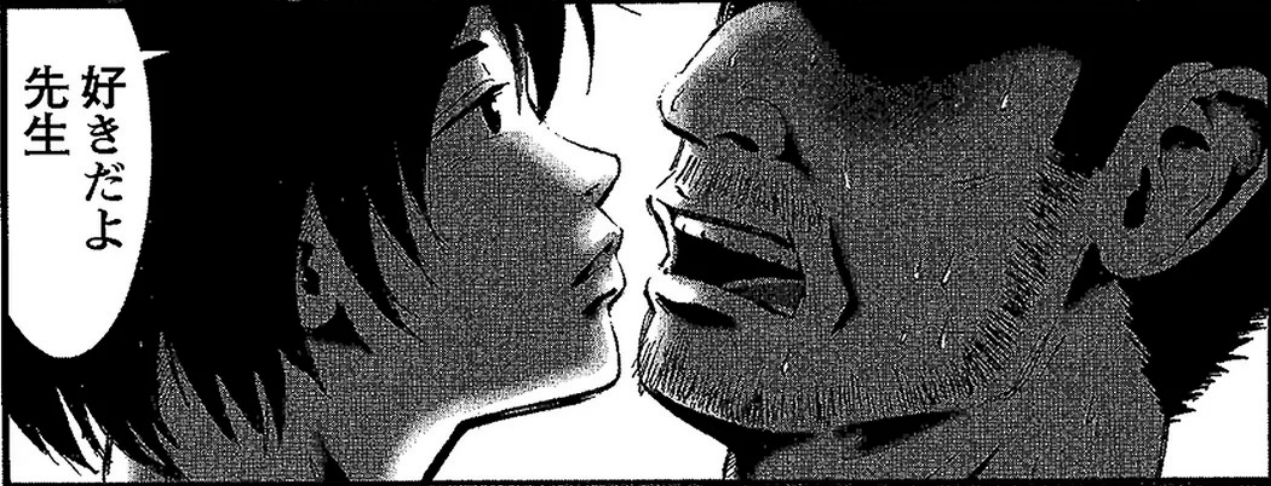
いいですよ
ずっと生徒とこういう事
したかったんでしょ？

やっぱり
良い体してますね

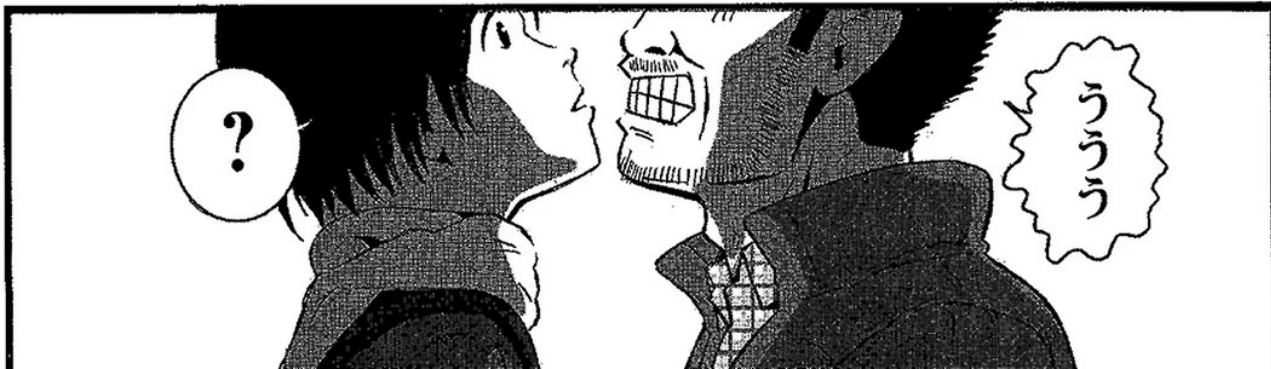


気持ち良い事
しましょう

う



好きだよ
先生



ううう

？

おおおお

ちよつと
先生!?

どけ

どけ

どこまで
行くんですか

え!?

この!
大馬鹿野郎!!



少し

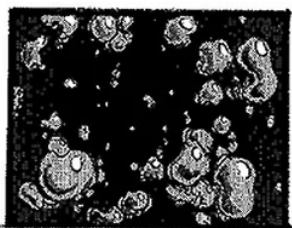
頭を
冷やせ!!

わあ!!

空が...

掴めそう...





しかも自分の事を
棚にあげて

真冬の海に
お前を投げ込む
だもんな



先生…



あ、ああ
本当に悪かった



冷たかったろ

嫌だつて
言ってるのに

父さんが
僕の事を…

……
触って…

……
やめてくれなくて

ケイ…

違うんです
僕は…僕は…

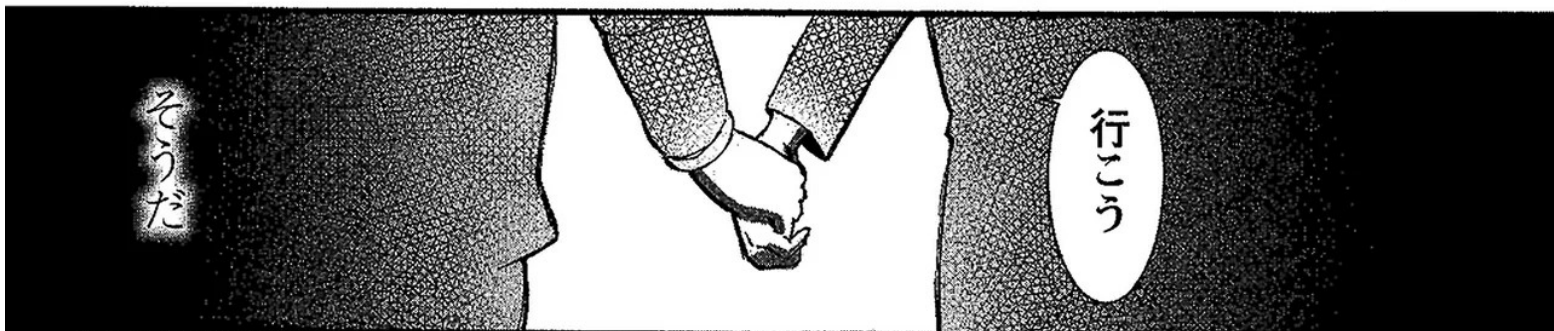




お前が泣き止むまで
先生は付き合うから



大丈夫
大丈夫だから
たくさん泣け



そうだ

行こう



青空って

意外と近くにあるのかもしれない

つづく

翼をください。

あらすじ

父 親に性的虐待を受けていた
ケイは、自宅を飛び出し、学校にも行かず、出会い系で知り合った男たちと寝てはこづかいを貰い、あてのない日々を過ごしていた。

そんなある日、学校の体育教師である稲村に、男とホテルから出る所を見つかってしまう。逃げだすケイに、稲村はすぐに追いつき、抱きしめてきた。

学校に來なくなっていたケイを心配していた稲村は、見つけたことに安心していった。ところがケイはそんな稲村を誘惑する。実は、前から稲村に好意を寄せていたケイは、稲村のことをゲイではないかと見抜いていたのだ。

しかし、そんな誘惑を振り切り、稲村はケイを港から海に放り投げる。勃起しながらも、誘惑に負けず、自分が悩んでいた事に気づけなかったことを悔やむ稲村の姿に、ケイはとうとう自分が父親に性的虐待を受けていることを打ち明けるのだった。

ケイ
KEI

稲村
INAMURA

翼をください。

山野内海

Part.2

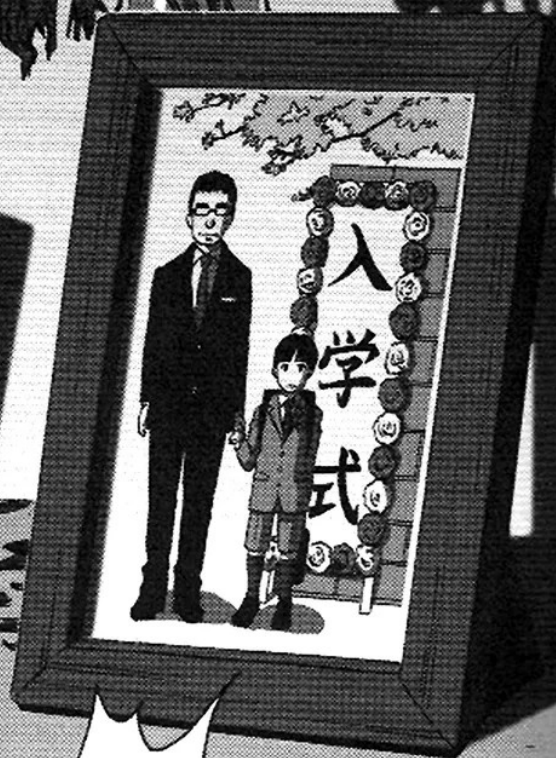
いやだ

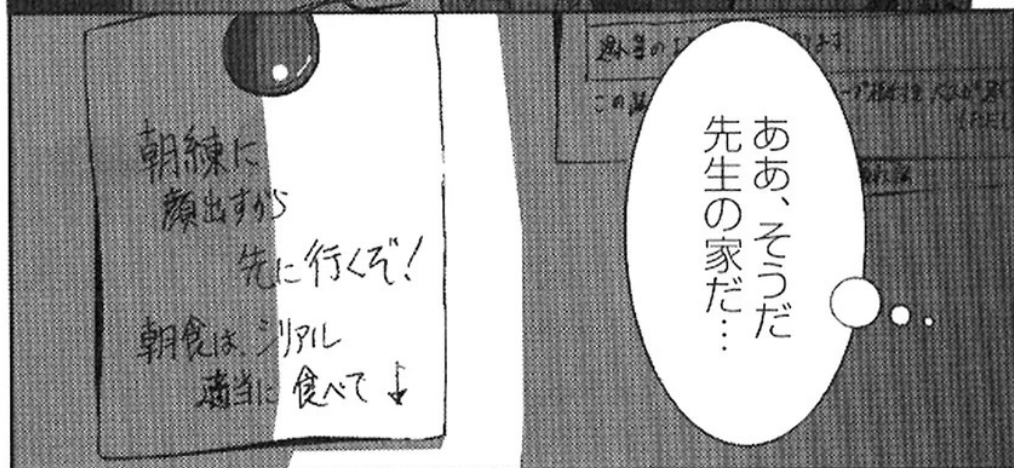
いたい

やめて、父さん

うあっ

くっ







ああ、俺の可愛いケイ
入院してたなんて
何で教えてくれなかったん
だよ

良かったわね、
宿題、写させてもらえる
可愛いケイが戻って来て

うっせー

で、看護婦可愛かった？
なんなら女医でも…

あーあ
また始まったよ
バカみたい

ふーん
僕は入院していた
ことになってるんだ
家出なのに

おー
「稲子」じゃん

※先生＝稲村大地→稲子



おう



マジかよ
この寒い中



え
喜べ、大好きなマラソンだ
ちなみに女子は柔道な

今日の体育
何やるの？
まさかマラソンなんて
ことないよな？



やべー
急げええー



まあ
がんばれ

ひどいわ。おかしいわ
か弱い女子にそんなハングリー
なことやらせるなんて

か弱い女子なんてどこに
いるんだよ

職員室

ケイ君ですが
今日は登校してます

昨日の電話の後
彼と話したのですが
あなたとは会いたくないと
言っていました

……

本来ならば
しかるべき機関に
通報する所ですが
彼は、頑として
拒んでいます

親類による性的虐待が
表沙汰になるのを嫌がって
いるのもあると思いますが
もしかしたら、あなたを
守ろうとしているのかも
しれません

……

聞いてます？

ええ

失礼ですが
ケイ君のお母さんは？

妻は、ケイが幼い頃に
家を出て、それっきり
行方知れずです
お恥ずかしい話ですが

私はケイ君を信用しています
彼の気持ちを尊重して
あげたい

ケイ君とあなたは
距離をおくべきです

素晴らしい
正義感ですね
ですが、これはあの子と
私の問題です



稲村先生
どうなさったん
ですか？
それ…

あ、いや…

集合

じゃあ、今から
持久走を始める
全員スタート位置について

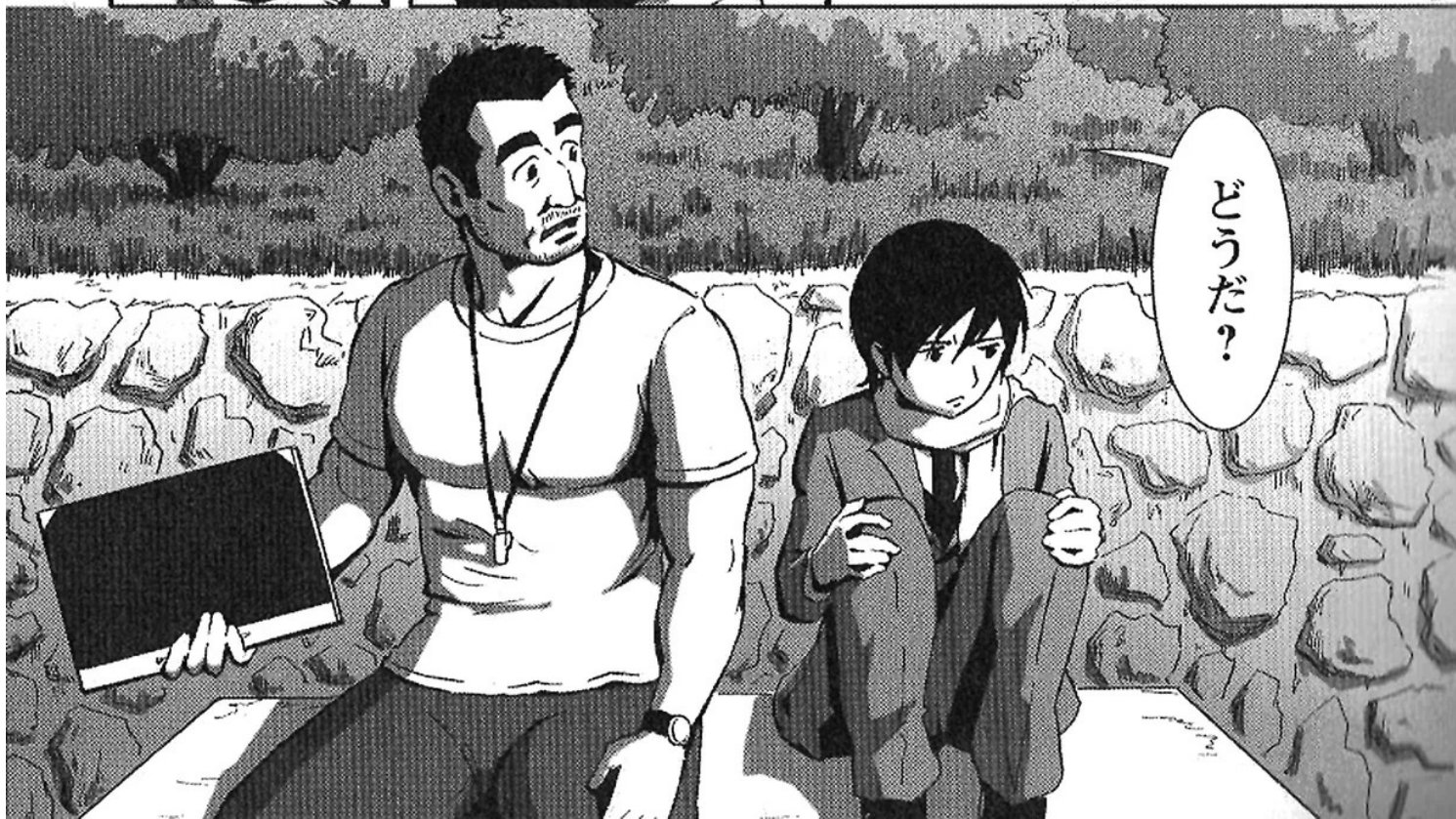
え

さみーよ

だりー

やってらんねー

サッカーがいい







「好きだよ。先生」





さ、さて
そろそろあいつらが戻って
くる頃かな

もういいです

おい！
ケイ

まだ授業中…

体調が悪いので
早退します

夕方…

まいったな…

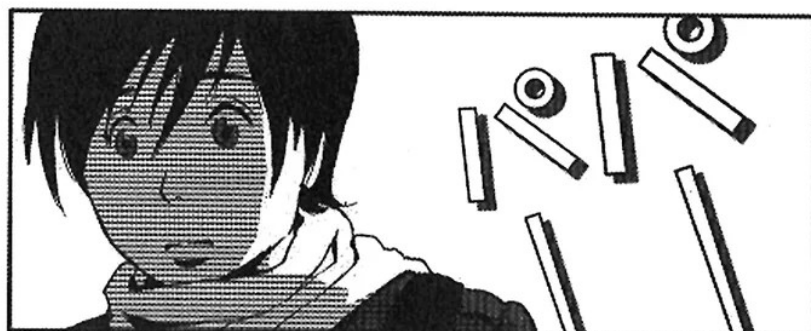
着きました

すみません
そろそろ図書室を
閉めますので…

あ、はい



また、誰かに
泊めてもらおうかな



お兄さん
これから俺と
ドライブがたら
飯でも食いに行かない？



あんな事、言って
走り去ったから

先生の家に
行きづらいな







そうだ



嘘^{うそ}の口だ





分：分
かりました

そうだ

僕はこれから

あなたの一番、近い所にいるんだ



分かってくれたのか？
すいぶんあっさり…

次は全部
チョコのを
下さい

あ、ああ

だから

いつか必ず――



つづく

翼をください。

あらすじ

父 親に性的虐待を受けていた
ケイは、自宅を飛び出し、学校にも行かず、売春まがいのことをしてアテのない日々を過ごしていた。

そんなある日、学校の体育教師である稲村に見つかってしまう。前々から稲村に好意を寄せていたケイは、稲村の事をケイだと見抜いており、セックスを迫る。

しかし、勃起しながらも自分の誘惑を振り切り、真摯な態度を取る稲村に、ケイはどうとう自分が性的虐待を受けている事を打ち明ける。

稲村は、とりあえず自分の家にケイを泊めて、学校にも登校させるようにする。そして、ケイの父親にケイと距離を置くよう伝えるが、父親は耳を貸さなかった。

警察には届け出を出したくないというケイの意向もあり、結局そのまま、危うい関係の二人の共同生活が始まるのだった…。



ケイ
KEI

稲村
INAMURA

深夜三時頃――

げえええ

げえええ

翼をください。

山野内海

Part.3

ハア

ハア

ハア



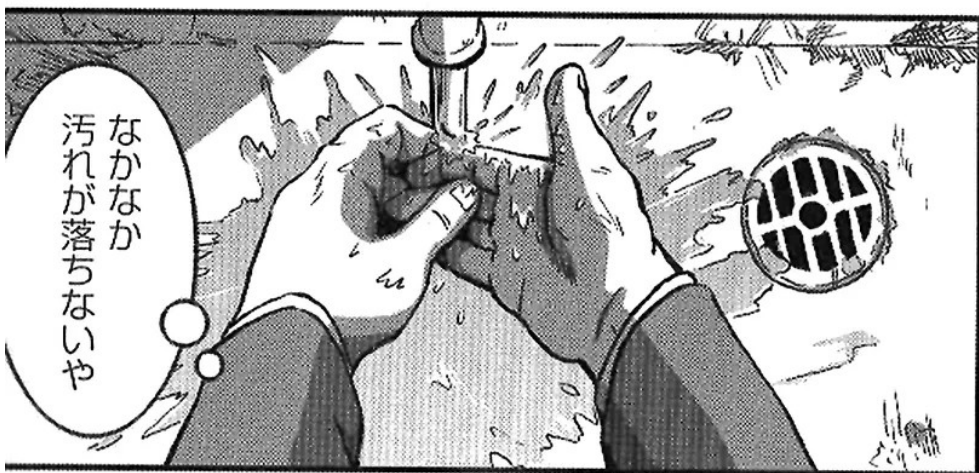




料理も下^へ手
だし

生活は絵に描いたような
スボラだし



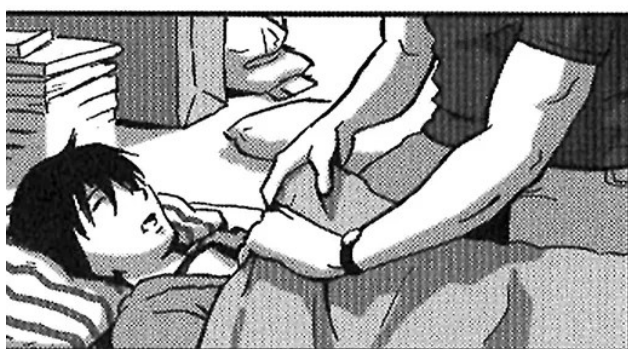


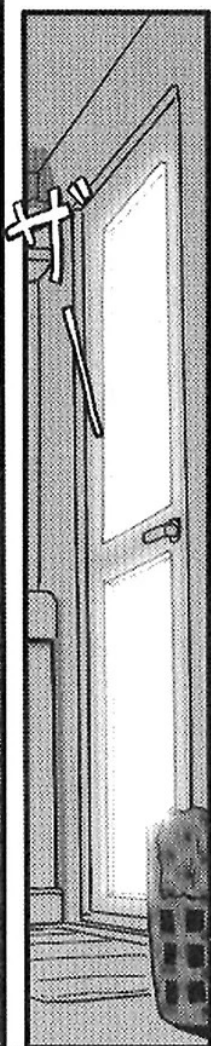




さっき感じたんだ











これなら
僕でも



ただい……



こっち
来てくれ

おー
お帰り



問題は野菜を
どう切るか……
だよな

包丁、苦手なんだよな
ハサミで切れないかな

じゃじゃ

ん

ちようど
組み立て終わった
んだ

部屋も片付けると
結構入るもんだな
二段ベッド

これでケイも
ちゃんと寝れると
いいけどな

